



「日名本村」付近を望む

地名学

九十一 日名

私たちが住んでいる周りには、たくさん地名があります。地名は私たちの生活に必要であるため、できたものです。それゆえ、意味や由来などが話題になり興味を湧かします。地名はそれぞれの土地のイメージを表現し、その地域の歴史や土地の事情や性質を言い表して、必ず何らかの意味を持っていきます。まさに地名は「歴史の生き証人」なのです。このような地名

を研究するのが「地名学」（地理学）で、最近では研究がかなり進んできました。中でも最も初歩的で代表的な地名に「日名」と「陰地」があります。市内のいたるところで見られる地名で、「日名の端」、「日名の谷」、「日名の前」など小地名の「日名」が川上町や備中町、玉川町、宇治町などで見られます。中でも大地名としては、成羽町の「日名」が有名です。成羽町の「日名」は、吉備高原を侵食して流れる日名川沿いに、小さな河成段丘面が両側の急峻な山に挟まれた地域に集落が発達している場所と、日名川上流には、熊谷川が合流していて、枝状に分かれた谷に沿って集落が点在したところが見られます。「日名」は、成羽八幡神社旧記（「渡辺家文書」・「成羽町史」）に享禄二年（一五二九）のこととして「成羽之庄六ヶ村末社定之事」の中に「日名村」には当宮地の丑寅御前を勧請有て丑寅御前大明神を安鎮被申けり」とあり、室町時代から「日名村」だったことが分かります。その後の「正保郷帳」（正保二・三年一六四五〜四六）に「日名村」として村名

と記録されています。そして、元禄四年（一七〇一）の「元禄郷帳」では「日名村」が「上日名村」と「下日名村」の二村に分けられて記録されています。明和三年（一七六六）の「成羽山崎領村々田畑高之覚」（「山崎家文書」・「成羽町史」）によれば、「上日名村」五〇三石余、「下日名村」六二〇石余りと書かれています。また「備中誌」（嘉永六年一八五三）に「上日名村」五〇八石余、枝村に日名畑・和名手をあげ、家数九六軒、人数五〇〇人あり、「下日名村」には五六三石余り、家数九四軒、人数四二四人、枝村に渡雁と畑をあげています。「上日名村」熊谷川上流の高原（海拔三三〇）の地域は、明和三年の「前掲書」に「福松新開田畑高一五石余」とあって、山崎領の新開地だった場所であることが分かります。「正保郷帳」には、福松新田一八石と記録が見られ、その後の明治には「上日名村」に統合されています（「地方行政区画便覧」一八八六年）。現在の成羽町「日名」には「上日名」と「下日名」の総氏神で成羽八幡神社の地にあった丑寅御前を勧請したといわれる御前大明神が鎮座し、参道には

安政二年（一八五五）の常夜灯や頭を角刈りにしたような愛きょうのある、弘化四年（一八四七）銘の狛犬、そして境内には安政三年（一八〇〇）の石燈ろうなどが、また参道入口の県道を隔てた場所には、御興の御旅所が残っていて「栄えていた時代の日名」の信仰の厚さをしのばせてくれます。また「下日名」の高台には、宝永三年（一七〇六）創建といわれる真言宗実相寺があります。このような「日名」という地名は、中国地方いたるところに見られます。特に吉備高原や中国山地などの起伏の多い地形のところでは、日照りが山の高さや斜面によって差があり、古くから農業生産に影響するために、山間では特に意識され、日当たりのよい場所が「日名」（日向・日南）の地名となり、反対に日陰になる場所に「陰地」「隠地」などの地名となつて表現されています。どちらも地域の集落の立地条件を示すもので「日名」は「日当たりのよい場所」（土地）、「南向き斜面」「日に向かう地」という意味でつけられている地名で、自然地名（気象地名）の一つで、地形も想像ができるような分かりやすい地名なのです。（文・松前俊洋さん）



「専門家の話が聞ける!相続セミナー」を開催

「いまさら聞けない相続・贈与のあれこれ」をテーマに、専門家を講師に迎え、相続セミナーを開催します。この機会に相続について学んでみませんか？市民の皆さんのご参加をお待ちしています。



日時：11月27日(水) 午後5時30分～午後7時（受付：午後5時）
場所：順正学園 国際交流会館（※駐車場あり）
受講料：無料
テーマ：「いまさら聞けない相続・贈与のあれこれ」
講師：早川健一氏（日本FP協会会員 ファイナンシャルプランナー）

※数多くの相続案件のコンサルティングをはじめ、企業からのライフプランセミナー講師等も多数こなす、金融・保険のスペシャリスト。

内容：①借入すると相続税が安くなる？②配偶者が半分相続は有利か？③相続より贈与の方が税金が高い？④物納について⑤小規模宅地の特例など、基本的なことをまとめたセミナーです。生命保険活用術も含め、具体的にその内容・方法をご紹介します。

申込方法：11月22日(金) 午後4時までに電話にてお申し込みください。

■問い合わせ・申し込み 株式会社JEI ☎223720



レストラン「ラ・エスペランサ」 秋のイタリアンランチフェア第2弾! 11月末まで開催中!

場所：順正学園国際交流会館1階（奥万田町） ※駐車場10台程度
営業時間：平日 午前11時30分～午後2時（※土・日曜日、祝日は休業）

成羽病院通信

■問い合わせ ☎423111

インフルエンザについて

成羽病院 小児科

寒くなり、インフルエンザの流行する季節が近づいてきました。今回は、日常生活でできるインフルエンザの予防方法についてお話しします。

インフルエンザは、通常の風邪とは違い、急な発熱（38～40度）がでるのが特徴の一つです。体調を整えて、インフルエンザウイルスに接触しないことが一番大切です。

予防方法として、

- ①栄養と休養を十分にとる。
- ②適度な温度・湿度を保つ。
- ③人ごみをさける。
- ④マスクを着用する。
- ⑤外出後の手洗い、うがいをする。



また、ワクチン接種も有効な予防方法です。対象年齢・接種量・接種間隔などについては、下の表を参考にしてください。不明な点は、かかりつけ医にご相談ください。

年齢	6カ月～13歳未満	13歳以上
接種回数	2回	1回または2回
2回接種の間隔	およそ2～4週間隔	およそ1～4週間隔

